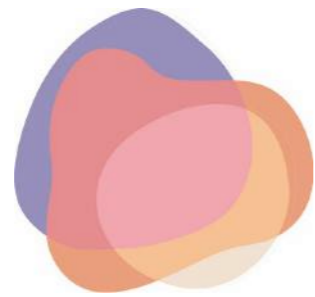


沖縄県芸術文化祭



ココロゆれるアートにふれる

OKINAWA ART&CULTURE FESTIVAL 2018



ココロゆれるアートにふれる

OKINAWA ART&CULTURE FESTIVAL 2018

主催：沖縄県・(公財)沖縄県文化振興会

共催：恩納村・恩納村教育委員会・東村・東村教育委員会・九州文化協会・沖縄県文化協会

後援：沖縄タイムス社・琉球新報社・NHK沖縄放送局・沖縄テレビ放送・琉球放送・

琉球朝日放送・エフエム沖縄・ラジオ沖縄

【お問い合わせ先】(公財)沖縄県文化振興会 TEL.098-987-0926

詳しくはHPをご覧ください

<http://www.okicul-pr.jp/kengeisai/>



| 展 示 部 門 |

美術・書道・写真 公募展

CONTENTS

主催者あいさつ	1
美術公募展	
審査講評・各受賞者作品	2
美術公募展出展作品一覧	6
書道公募展	
審査講評・各受賞者作品	8
書道公募展出展作品一覧	12
写真公募展	
審査講評・各受賞者作品	14
写真公募展出展作品一覧	18
年度別展示部門入賞者一覧	20

開催日程

	展示部門	入場無料
美術・書道・写真公募展		
本展	沖縄県立博物館・美術館 平成30年11月10日(土)～18日(日) ※11月12日は休館日	
写真選抜展	東村立山と水の生活博物館 平成30年11月20日(火)～12月2日(日) 恩納村博物館 平成30年12月5日(水)～19日(水)	
	舞台部門	入場無料
重要無形文化財保持者等公演		
マティダ市民劇場(宮古島市) 平成31年2月9日(土)		

主催者あいさつ



沖縄県知事
玉城 デニー

はいさい ぐすーよー ちゅうがなびら
第47回沖縄県芸術文化祭の開催にあたり、御挨拶を申し上げます。
沖縄県芸術文化祭は、県民の多様な文化芸術活動を奨励し、文化の向上と発展を目的として、沖縄が本土復帰した昭和47年から毎年開催しております。
公募展においては、多くの県民の皆様から、書道、写真、美術の各部門合わせて、563点もの作品が寄せられ、厳正な審査の結果、287点の作品が入選しました。
沖縄県知事賞をはじめ、入賞された皆様並びに入選された皆様、誠にありがとうございます。心からお祝いを申し上げます。
これらの作品については、県立博物館・美術館で展示しておりますので、多くの方々が足を運ばれ、感性溢れる、優れた芸術作品の数々を御鑑賞いただければ幸いです。
また、本展終了後には、北部地域の皆様にも鑑賞していただけるよう、東村立山と水の生活博物館及び恩納村博物館において、写真選抜展を開催いたしますので、是非御覧下さい。
さらに沖縄県芸術文化祭では、舞台部門として宮古島市マティダ市民劇場において重要無形文化財保持者等による組踊や琉球舞踊等の舞台公演を開催するとともに、組踊の楽しさを体感できるワークショップを実施します。
地域住民の皆様をはじめ多くの方々に、沖縄が誇る伝統芸能の魅力を存分に堪能していただきたいと思っております。
沖縄県としましては、今後とも県民の皆様の多様で創造力豊かな芸術活動を奨励・支援するとともに、広く芸術鑑賞の機会を提供できるよう努めてまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。
結びに、沖縄県芸術文化祭の開催に御協力いただきました審査員及び、関係者の皆様に厚く御礼申し上げ御挨拶いたします。



公益財団法人 沖縄県文化振興会
理事長 仲田 美加子

ぐすーよー ちゅうがなびら。
第47回沖縄県芸術文化祭公募展を開催するにあたり、ごあいさつを申し上げます。
沖縄県芸術文化祭は、県民の皆さまの多様な芸術文化活動の奨励と優れた芸術作品の鑑賞機会の提供を通して、県民文化の向上に寄与することを目的に昭和47年度から毎年開催しており、今年で47回目を迎えます。
今年も多くの魅力的で、個性豊かな作品が、皆さまのご来場をお待ちしております。また、例年好評をいただいている、東村及び恩納村での写真選抜展も開催いたします。より多くの皆さまが作品の魅力を楽しんでくださる機会となれば幸いです。
本展期間中は、入賞作品及び入選作品の展示、審査員と無鑑査の作品展示、さらには、書道・美術・写真の各分野で、体験教室や審査員の先生方によるギャラリートークなどの場を準備し充実させて参ります。
今後も皆さまの身近にある芸術文化をご紹介させていただくことで、沖縄全体の芸術文化に対する機運を高めていきたいと考えています。
作品応募に挑戦くださった皆さま、ご支援いただきました関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。
沖縄県文化振興会は、みせる・つなげる・ささえる・つくる・そだてるの五つの柱で文化芸術活動の支援に取り組んでおります。
沖縄県芸術文化祭が本県の芸術・文化の祭典として多くの県民の皆さまのご鑑賞の機会がさらに充実したものになるよう、力を尽くしてまいりたいと考えております。
むすびに、情熱的に、丁寧に審査して下さった先生方をはじめ、ご支援くださった関係者の皆さまに心から感謝申し上げ挨拶いたします。

第47回 沖縄県芸術文化祭

美術公募展

美術総評

地球温暖化で酷暑など台風や地震と想定外の天変地異が全国各地で見られ心が休まることがない。想像力・創造力を発揮する美術の力を信じてこの芸術祭美術部門に応募され、見事に入選・入賞された方々に多大な称賛を送って頂きたい。芸術の秋に向けて心豊かに美術作品をご観くだされば有り難いと思う。いっぺんにへーでーびる。

今年度は審査会場が従来の美術館バックヤードから収蔵作品の保護・燻蒸のため県民ギャラリー奥のアトリエに変更になった。全応募作品を総覧した後、作品審査がスタートした。公開審査の状況も美術館講座室から広いエントランスに移動されて、多くの方がモニターで逐一ご覧になれたと思う。午前中は10人の審査委員で115点の応募から挙手によって入選・保留を慎重に審査した。午後は保留作品17点を論議しながら入落を決めた。作品レベルも昨年より良くなり入選も増えて69点から74点になった。審査員が10人と偶数のため議論が平行線になり審査委員長が最終的に決定した。奇数の審査委員11～15人ぐらいに調整が必要と思われる。更に入選の中から優秀な作品を挙手で行い22点を選出した。正賞の5作品を決定するために賞候補の選出を投票によって9点に絞られた。更に投票で入賞以上の5点を上位得点順から選び、下位3点を奨励賞とした。上位2点を最終投票にて最優秀の県知事賞を決定し次点が沖縄県文化振興会理事長賞となった。最高賞の沖縄県知事賞に伊志嶺達雄「孤宿の人」である。人物は表現されてないがイメージを想起し、クリエイティブな存在感のある力強い表現が評価されたと思う。十字架を背負い苦悩し不屈に生きる人々の魂を重量感ある陶による立体造形が美しい。沖縄県文化振興会理事長賞の平川宗信「黒い森」。奨励賞に與那覇勉「地相Ⅲ」、仲程悦子「翔」、仲座包子「つながる」。受賞歴のない賞候補から新人賞が決まった。新人賞はカガミ ジョージ「物質Ⅰ」、詳細は各審査委員の講評にまかせる。

出品の際に応募規定に合わずに受付できない作品があり事務局の方々のご苦労と優しさが垣間見られた。特に暑い中2m越えの意欲的な大作を搬入して来たのに判断を審査委員に預けられ当惑した。規定外では受付できず、審査もできない惜しい作品があり残念であった。募集要項をしっかりと読んで規定内での額装をして来年に再度出品してほしい。

美術部門審査委員長 佐久本 伸光



沖縄県知事賞

「孤宿の人」

伊志嶺 達雄

昨年に続き、今年も立体作品が最高賞の榮譽に輝いた。平面作品が年々充実していく中での快挙である。

47回展の県知事賞「孤宿の人」は社会から隔離され、闇へと追いやられている「ハンセン病」をテーマにした作品。陶土で創られ、作者が長年こだわる粗目の釉薬が全体的に施され、その上しづい色調の中、わずかなブルーが効果的に映える。そして上半身、首の無い衝撃的な像の胸には、ぽっかりと穴が空き、台座が包帯で巻かれているのがとても強烈。作品からは、不条理や差別等、観る側へ静かに問いかけてくる。

近年の作品に少ない、対社会へアプローチしている極めて重みのある秀作。益々の躍進に期待したい。

講評担当者 川平 恵造

奨励賞
「翔」

仲程 悦子

水墨の技法を駆使することで濃淡、明暗を表し無限のあじわい深い空間を醸し出している。それは、幽玄の世界を強く意識させる。その中を浮遊し交差する無数の線描のドーイングは、繊細で緻密な隙がない描き込みがなされている。まるでヒトの生命の根源をなす細胞に宿る遺伝子を連想させる。抽象表現においては、己の心の奥深くに潜む様々な感情をどのように具現化していくか常に葛藤がある。線描の拡散や交差は、歓喜、悲哀、不安、迷いなど心の揺らぎそのものかもしれない。今回の作品は色彩や構成において激しく自己主張するのではなく、内に秘めた作者の芯の強さとしなやかな優しさが伝わってくる。

表現に対して自問自答しつつ、しかし粘り強く探求する作者の真摯な姿勢が評価され受賞となった。これからの展開、活躍に注目したい。

講評担当者 屋良 朝彦



奨励賞
「つながる」

仲座 包子

奨励賞おめでとう。仲座さんは、2008年から現在まで、10数年「つながる」をテーマに描き続けてきた。今回の受賞作《つながる》は、余白の美しさが目を引いた。円球をとり巻く背景が曲線になり、色彩も柔らかく広がり、未知の世界へと無限のエネルギーを循環させている。円の中では、点描で描かれた赤、青、紫の色彩が立ち現われ、揺らいだ細い線でつながっている。家族や作者自身をとり巻く周辺の人々、地域社会、事物とのつながりや人間模様が映し出されているようだ。「円、丸、球体…これらの形は『生命』へのつながりである」と作者はいう。円をとりまく空間（余白）は、解放感を与え、新たな未来を想像させる。次回作品にもさらなる広がりをみせてほしい。

講評担当者 中島 イソ子



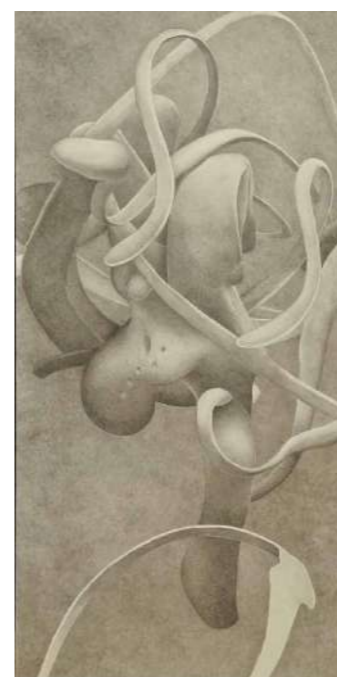
新人賞
「物質 I」

カガミ ジョージ

静謐な作品である。紙の大きさを活かした、動きのあるダイナミックな構成を取っているにも関わらず、穏やかに整った印象を与える。全体をハーフトーンで描き、強い明暗の対比はないものの、その諧調のバリエーションは豊かである。鉛筆のタッチは細やかで破綻がなく、非常に抑制の利いた画面を作り上げている。

モチーフはどのようなものを表そうとしているのだろうか。空中に浮遊している物体をとらえているのだろうか。すべてが曲線で組み立てられているこの画面を見ているとリズムカルな躍動する気配がだんだんと近づいてくるような気にもなってくる。このため、冒頭に書いた「静謐な作品」という事を打ち消すような場面が迫ってきているともとれる。ただ穏やかで美しいという作品ではないものを感じられ、これからの展開に期待が持たれる。

講評担当者 西村 立子



沖縄県文化振興会理事長賞
「黒い森」

平川 宗信

スクラッチのマチエールが施こされ、モノクロームのグラデーションにより、半具象性をおびた大画面。その視覚的重量感、審査の初期の段階から存在感を示していた。

黒の空間から浮かび上がってくる縦横に構築された木の幹状に見える形態。それらの前に立てば、作品タイトルを見ずとも、奥深い森の中に、我々観る者は佇まさせられる感がある。

半抽象、あるいは半具象の中に在る自然生命的重量感。

画面の奥にのびる赤色の帯は、深い森から望む地平線ともとれるが、我々の深層心理からうかがう外界の状況への、あるいは、過去や未来への洞察を促がす象徴的境界線ともとれる。

これまで、どちらかといえばミニマル的平面抽象表現であった作家が打ち出した新たな心象世界への誘い。その圧倒感が今回の受賞の要因であろう。賛辞と共に、そのエネルギーを今後も見たいと考える。

講評担当者 大城 護



奨励賞
「地相Ⅲ」

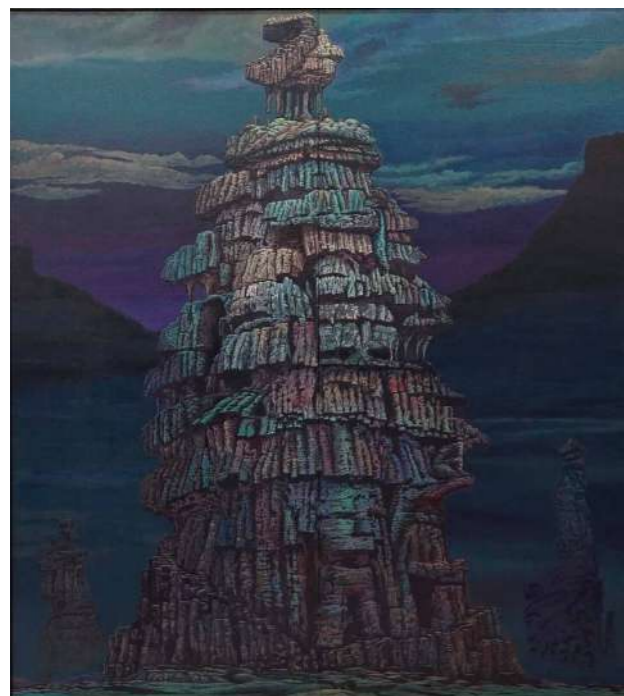
與那覇 勉

與那覇氏の作品は、表層的には地層のイメージで侵食した積層を単に表現しているかのように見えるが、タイトルにあるように「地相Ⅲ」は人間の心の中を無意識に表現していると考えられる。自分自身の思想・意志などを構築し完成されるものであり、己の象徴ではないだろうか。

細部まで描きこまれたマチエールは効果的な表情を持ち、細やかな積層や構成的にもバランスが良い作品となっている。淡い光により、作品へ吸い込まれるような感覚に陥るのは私だけだろうか。

この作品は、審査開始から賞候補として推薦され、独特の表現手法で完成度の高い作品として、奨励賞の受賞となった。これまでに優秀賞や奨励賞を受賞しており、審査委員からも作品に対する評価が高い作家である。前年度の作品より空間の活用が向上しており、今後の制作に更に期待したい。

講評担当者 赤嶺 雅



美術公募展作品一覧

■審査員出展作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名
塞がれた自己の念	121×93	平面	紙・顔料インク	赤嶺 雅
プライド	180×52×8	平面	板・アクリル	大城 譲
風景の中で	90×150	平面	アクリル	大浜 英治
夏シリーズ・okinawa	250×166×30	立体	アクリル・木・箔	川平 恵造
混沌・色・18	82×112	平面	コラーージュ	喜久村 徳男
潮流のラビリンス	F100	平面	アクリル	佐久本 伸光
部屋	116.6×80.3	平面	油彩	中島 イン子
夏雲	F8	平面	日本画	西村 立子
MY SPACE	180×90	平面	ミクストメディア	屋良 朝彦

■無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名
Emotional/scene10-18	F50	平面	アクリル	池原 優子
Woman	55×20×16	立体	FRP	玉那覇 英人
last Summer 2018	187×187	平面	ミクストメディア	知念 秀幸
羅漢	164×133	平面	油彩	鶴見 伸
点と位置と	196×164	平面	アクリル	與那嶺 芳恵

■美術入賞作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
沖縄県知事賞 孤宿の人	50×50×170	立体	陶器	伊志嶺 達雄	名護市
沖縄県文化振興会理事長賞 黒い森	189×189	平面	油彩	平川 宗信	沖縄市
奨励賞 地相Ⅲ	194.5×174.5	平面	アクリル	與那覇 勉	与那原町
奨励賞 翔	188×189	平面	水彩・墨	仲程 悦子	うるま市
奨励賞 つながる	F130	平面	アクリル	仲座 包子	中城村
新人賞 物質I	185×94	平面	鉛筆	カガミ ジョージ	那覇市

■美術入選作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
尖塔のある街	97×133	平面	油彩	大城 裕	南風原町
恐怖と自由と	180×183	平面	木くず・油彩	髙原 武子	本部町
明日は出漁	151×117	平面	油彩	亀浜 勇吉	那覇市
カイダ字へのオマージュ	194×162	平面	ミクストメディア・紙・麻布	仲宗根 市子	那覇市
シーサーのある風景	F120	平面	油彩	大城 春信	那覇市
エンゼルトランペット	164.4×164.4	平面	油彩	八木 洋子	うるま市
メタモルフォーゼ	135×53×30	平面	紙・月桃繊維・染料他	石原 美智子	与那原町
師走の街角	F40	平面	キャンバス	仲間 英子	読谷村
小鳥と少女	126×101	平面	油彩	知念 悦子	北谷町
幻影都市	95×119	平面	アクリル	金城 龍太	糸満市
家路	F100	平面	油彩	仲本 潤一郎	沖縄市
Reverse	97×130	平面	アクリル・コラーージュ	久場 兼一郎	那覇市
沖縄、鼓動・波動・愛さんどー	184×184	平面	アクリル・漆喰	砂川 恵光	浦添市
Mayaの折り	176×145	平面	油彩	仲宗根 勇吉	沖縄市
モニスムス	17	立体	ペンキ・ペン	武村阿委華	那覇市
フリッパー	35	立体	ペン	武村阿委華	那覇市

■美術入選作品

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
天才暗号神様の天才偉業絵	F100	平面	油彩	宮城 和邦	大宜味村
ヒージャーの塊	15×28×22	立体	琉球石灰岩	平敷 傑	沖縄市
べらんめえ	60×90	立体	赤土・木片	上原 則雄	那覇市
すうまんぼうす 新芽が咲く頃	F100	平面	油彩	砂川 秀勝	那覇市
旅立に送る	73×61	平面	油絵	長谷川 正昭	沖縄市
透明な海・透明な色	73×61	平面	油絵	長谷川 正昭	沖縄市
今夜咲きます (月下美人)	F30	平面	水彩	石川 恵子	西原町
穏やかな午後	59×52	平面	水彩	泉 朝順	西原町
パイナップル 食べたいなあー	42×57.5	平面	マジック	山川 勇	那覇市
渦流	200×200	平面	アクリル	並里 幸太	本部町
肖像一暗窓が彼の心を陰って行ったー	57×37×25	立体	陶土	神村 吉次	那覇市
immaturity未熟	130×160	平面	アクリル	上田 達大	宮古島市
静物	67×60	平面	油彩	高嶺 伸	那覇市
島バナナ	122×77	平面	アクリル	比嘉 克啓	金武町
Mistari	135×110	平面	アクリル	具志堅 古秀	北谷町
閃	184×184	平面	コーヒー粉・紙・アクリル	比嘉 孝	読谷村
余波	148×114×7	平面	油彩	普天間 新	八重瀬町
言霊の泉	117×167	平面	アクリル	伊芸 匠志	うるま市
花風	150×105	平面	色鉛筆	城間 文雄	那覇市
一時	194×130.3	平面	布	石川 哲子	うるま市
夕映の盤根	190×188	平面	油彩・砂	港川 浩秀	読谷村
樹根	97×72	平面	水彩	崎野 欣二	那覇市
滝桜	190×80	平面	水墨画	白金 直	沖縄市
ODYSSEY -ガラスの玉ねぎ-	140×160	平面	油彩	渡辺 幸夫	那覇市
芽吹き	F50	平面	水彩	千賀 ちか	中城村
色を愉しむ	102×80	平面	木・花紙	上原 進	南城市

題名	サイズ	種別	材質	氏名	市町村
運の風	57×69	平面	水彩	宮平 富裕	宜野湾市
Gaia	56.5×74.5	平面	デジタルプリント	宮義 洋史	沖縄市
メモリーボックス	183×92	平面	CG・ペニヤ板・発泡スチロール	松本 幸昌	那覇市
過去・未来	148×78	平面	水彩	東 光二	糸満市
五百羅漢(沖縄2018) 去りし後の新世界ETC 無限ABCDEFGHI(愛)!!!	183×188.5	平面	油性ペン	与那覇 俊	豊見城市
雨のアメリカンビレッジ	167×117	平面	油彩	伊是名 吉明	沖縄市
コスモス畑	170×121	平面	油彩	親泊 光子	与那原町
白保の獅子舞い	147×178×25	平面	油彩	奥住 玉枝	那覇市
Crazy me	167.5×133.2	平面	油彩	比嘉 陽子	南城市
シルバーホライゾン	166×117	平面	油彩	糸洲 英子	豊見城市
狂気 -Daddy!Come back	172×122	平面	油彩	金城 芳明	宮古島市
彼方	190×150 190×70	平面	アクリル	比屋根 清隆	沖縄市
夫婦円満	185.4×186.4	平面	油彩	伊禮 亮	嘉手納町
四次元の入口	180×180×180	立体	ペニヤボール紙・ねじ他	中澤 将	浦添市
白日夢	92×112	平面	石コウ版画	新屋敷 孝雄	読谷村
母と子	F50	平面	油彩	伊川 はるよし	糸満市
夢露-39度8分の境界線-	68×67	平面	木版画	座喜味 盛亮	名護市
葛藤	119.5×82.6	平面	油彩	國場 まゆみ	那覇市
山原船	180×200	平面	アクリル	屋良 朝信	うるま市
至福の瞬間	27×45×30.3	立体	安山岩	村松 優実花	那覇市
重くて硬くて動かない	80×80×80	立体	軟鉄	小泉 ゆりか	那覇市
樹-X	141×189	平面	水彩	比嘉 博	南風原町
望郷	178×127	平面	油彩	下地 正宏	大宜味村
こどもとあさ	161×184	平面	アクリル絵具	齋 悠記	沖縄市
老刻	185.5×95	平面	鉛筆	饒平名 知健	西原町
HIKARI	180×180	平面	アクリル	金城 由美子	豊見城市

第47回 沖縄県芸術文化祭

書道公募展

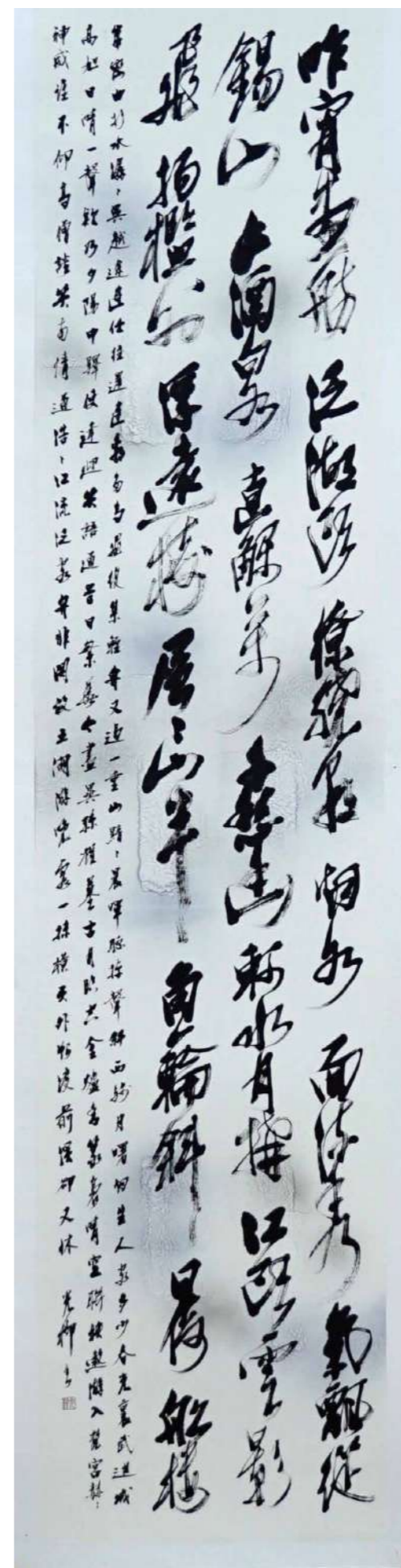
書道総評

昨年までバックヤードの審査であったが、今年から県民ギャラリースタジオ、県民アトリエ、子供アトリエに変更になった。理事長からの提言で今年から11名で審査をすることになった。

今年は124点の応募があり去年より18点の減になった。9時30から作品の総覧に入り挙手による入選の鑑別に入る。過半数は6点で、6点以上得点の作品が92点あり昨年の展示実績を踏まえ5点以上の108点を入選と決定する。午後から入賞の審査に入る。8点以上得点した作品を再覧して審査員に賞に値いする作品に賞候補の発声をもらうことにした。その結果10点の作品に賞候補の声が上がった。漢字6点、かな3点、篆刻1点である。10点の作品を壁面に掛け持点6で投票した結果、下方の3点を落とし、再度持点5で投票した結果、上位5点を入賞として下位の2点から新人賞を決定しようとしたが2点とも前に入賞の経緯があり新人賞に値いしないとのことで今年は新人賞なしに決定する。高得点の上位2点を投票の結果、沖縄県知事賞に伊波エツ子さん、沖縄県文化振興会理事長賞に仲宗根司さんに決定。のこり3点を奨励賞に金城綾子さん、喜友名正子さん、田頭節子さんに決定する。受賞した各人の評は担当の審査員に委ねます。

今年の作品は、2・3点未熟な作品もありましたが全般的に練度高く高得点の作品が多く相対的に質の高い作品が多く見られた。作品みんながみんなとは言いませんが、師風の強い作品が散見された。類型化された作品は魅力に欠けます。古典を熟知されその中から自分の心象を発露された作品は心憎いほどの光彩を放ちます。また料紙、筆、墨等に十分に配慮された個性豊かな作品の台頭を切に期待します。

書道部門審査委員長 豊平 峰雲

沖縄県知事賞
「蔡大鼎詩」

伊波 エツ子

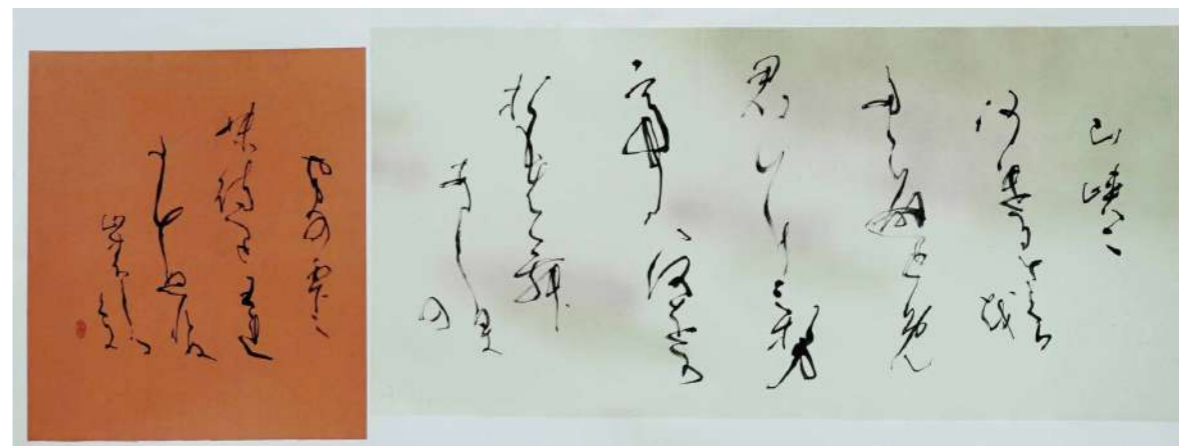
“県知事賞”という“大輪の花”おめでとうございます。

琉球漢詩の蔡大鼎の詩を大字三行細字三行に書き上げた作品。まず目に飛び込んでくるのは磨り墨の持つ“ふくよかさ”と加工紙（二色のぼかし）の融合である。この調和が作品に清々しさを醸し出している。

大字三行は大胆な筆の動き（タッチ）から次へと連携する字間のリズムが強靱な渴筆と豊潤な潤筆、疎密感を生み出し文字の表情を豊かにしている。その完成度の高さは偶然に生じたものではなく日頃の書と向き合う真摯な態度と練習量により実を結んだものである。

また細字三行は大字を支えるが如く一糸乱れず淡々と運筆しているが、一文字一文字変化に富んでいる。全体としてこれだけ細部に気を配りながら気負わずまとめ上げた作品は十分に鑑賞に価する。今後とも更なる研鑽を積み精進される事を望む。

講評担当者 運天 南陽



奨励賞

やま かい
「山 峡に」

喜友名 正子

本作品は、万葉の歌二首を60cm×178cmの世界に表現している。優雅な中にも迫力を感じさせ、仮名の魅力を存分に発揮しており、好感の持てる作品である。鍛練された筆遣いから生まれたリズムカルな運筆。そして、直線、曲線、筆圧の強弱は、基礎をしっかり学ばれたからこそ出せる線質である。仮名は、余白美も作品構成のうえで欠かせない重要な要素であるが、それも、美しい空間に仕立てられ、作品全体をゆったりと大きく魅せている。作品中央頭部に配置された「帝」の字は大きな字形になっているにも拘らず、左方向への傾き加減が絶妙であり、両隣の行ともうまく調和し、作品を際立たせている。また、後半部に明るい色彩の紙を使い作品にアクセントをつけているのは大いに評価したい。欲を言えば、後半部の字数を減らすと、すっきりしたように思う。しかし、とても佳い作品に出会えた。観る方々の目を充分に楽しませてくれることを期待している。

講評担当者 村山 穂舟



奨励賞

「夏夜宿流虹寺有感他一首」

金城 綾子

極微羊毫を使用し、その筆致が爽やかな情感がリズムにのって楽しく表現されている。書は書く人の心象を自然のうちに内面から発散するものあり、技法的不熟さと巧さはその筆遣いを見ることでわかり、造形の取り方でも見ることができる。心の発露はその練度の上であり、楽しく、律動的でリズムカルに表現しようとしていることが、自然に無理なく書かれた作品は良作と言える。書が心象の発露とあるといわれるゆえんでもある。

金城綾子さんの作品長峰の動きが楽しく見る人を線の妙味を堪能させてくれる作品になった。

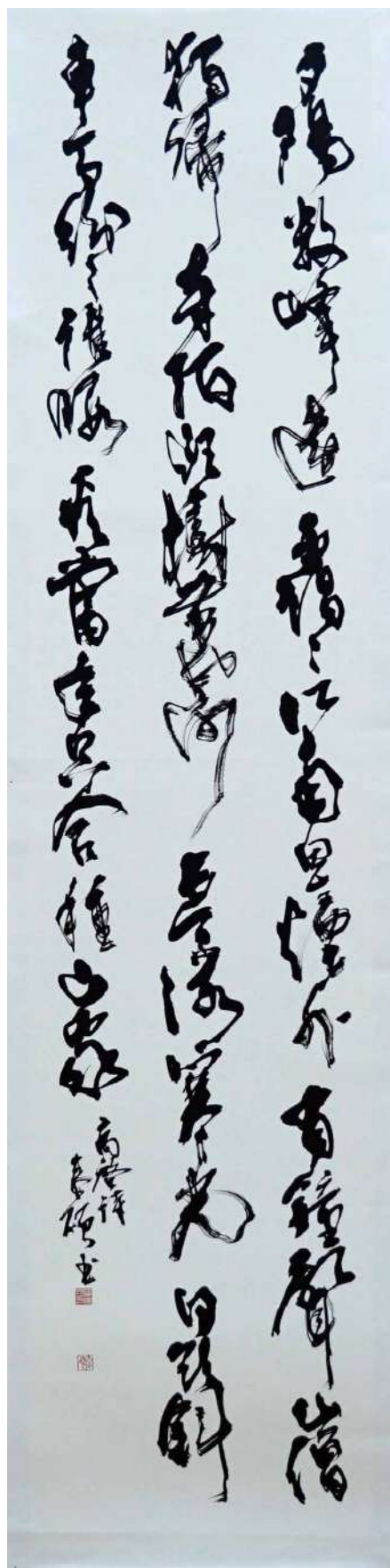
講評担当者 豊平 峰雲

沖縄県文化振興会理事長賞
「高啓詩」

仲宗根 司

仲宗根 司さんおめでとうございます。
沖縄県芸術文化祭書道部門において理事長賞を受賞されたことを誠にお喜び申し上げます。日頃から氏の書に対する姿勢が作品に表れていると思います。特に根底には顔真卿を中心に臨書を研究され、字形のデフォルメや墨の濃淡、潤滑、筆先の抑揚から生み出される線の太い、細いが上手く絡み合って氏独特の筆遣いがこの作品をより魅力的になっていると思います。きっと参観者も引きつけられると確信しております。今後のご活躍を期待いたします。

講評担当者 渡名喜 溪水



奨励賞

「龍応鳴鼓・春酒介壽」

田頭 節子

氏の篆刻作品は方寸の世界に、自由自在に刀タッチを生き生きと表現した力強い作品である。二顆の内の一顆目の作品は、「龍応鳴鼓」を、印材の青田石に7センチ5ミリのサイズを用い、篆書体の金文を筆で書き並字形にし、四文字を回文にした事で、バランス良くまとめ上げた作である。

二顆目の「春酒介壽」は、小篆を活用し、安定した朱文印である。篆書体を石に書き、力強く刻り上げた事で、見応えのある作品となった。作品から伺える事は、刀の切れ味である。古い文字の字体を篆書で味わい深く、篆刻の魅力を醸し出した作といえよう。二顆共側款の図柄も、細い線、太い線の変化の良さが目に止まった。辺淵も適度の「カケ」を入れた事で安定した。

氏のこれ迄の努力と忍耐が実を結び受賞に至った。今後益々賞に恥じぬよう精進してほしい。そして篆刻や模刻にも力を入れ、心して学び続ける事を期待する。

講評担当者 東江 順子

書道公募展作品一覽

■審査員出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
涙種 喜聲	D	篆刻	東江 順子
座花酔月	A縦	漢字	新川 泰仙
対句	C	漢字	暹天 南陽
四字句	C	漢字	我喜屋 明正
李白詩	A縦	漢字	我部 玉萩
月未にみゆ	B横	かな	小杉 紘南
喜納昌吉の「花」	A縦	近代詩文書	立津 文堂
語句	B縦	漢字	渡名喜 溪水
長虹秋露の詩	A縦	漢字	豊平 峰雲
筆硯佳友を得	A縦	漢字	福原 瑞堂
秋のおとずれ	B横	かな	村山 穂舟

■無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
菜根譚	A縦	漢字	上門 かおり
人生在勤	B縦	漢字	神山 律子
菜根譚	A縦	漢字	島 尚美
てんしゃごの花	B縦	かな	新里 明美
避暑竹風涼	A縦	漢字	砂川 榮
李白詩	A縦	漢字	仲村 由美子
初冬の晩眺	B縦	漢字	中村 裕美
王漁洋詩	A縦	漢字	西蔵盛 英雄
健やかに	B横	調和体	眞喜屋 美佐

■書道入賞作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
沖縄県知事賞 蔡大鼎詩	A縦	漢字	伊波 エツ子	読谷村
沖縄県文化振興会理事長賞 高啓詩	A縦	漢字	仲宗根 司	沖縄市
奨励賞 龍応鳴鼓・春酒介壽	D	篆刻	田頭 節子	那覇市
奨励賞 山 峽に	B横	かな	喜友名 正子	北中城村
奨励賞 夏夜宿流虹寺有感他一首	A縦	漢字	金城 綾子	八重瀬町
新人賞 該当者なし	—	—	—	—

■書道入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
花～すべての人の心に花を	B縦	近代詩文書	築地 佐和子	座間味村
寒山詩	A縦	漢字	屋良 知絵未	宜野湾市
春日山行	A縦	漢字	与儀 好子	那覇市
送水村育齊借游滇南	A縦	漢字	兼島 直美	八重瀬町
杜子美二首	A縦	漢字	真栄田 義之	那覇市
江上送客	A縦	漢字	金城 功	豊見城市
偶成	A縦	漢字	古堅 直子	伊江村
蘇東坡詩	A縦	漢字	川上 タケミ	北中城村
李白詩	A縦	漢字	川中 留美	浦添市
雑誌基一他一首	A縦	漢字	亀ヶ谷 牧子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	屋良 美香	沖縄市
思田園他一首	A縦	漢字	近江 幸子	糸満市
寒山詩	A縦	漢字	仲村 冴子	沖縄市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	徳里 美代子	嘉手納町
弟纏に別れて後青龍寺に登り藍田山を望む	A縦	漢字	島袋 園子	那覇市
春姿	A縦	漢字	下地 京子	宜野湾市
武昌の松風閣	A縦	漢字	永山 千里	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮城 孝子	北中城村
王維詩	A縦	漢字	伊禮 かおる	豊見城市
早春江行	A縦	漢字	知念 レイ子	伊江村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	古賀 日奈子	西原町
桑外一首	A縦	漢字	山里 榮子	西原町
黄庭堅	A縦	漢字	上原 好美	読谷村

■書道入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
高青邱詩	A縦	漢字	神里 和子	南風原町
蘇東坡詩	A縦	漢字	田場 愛子	沖縄市
舟中懐いを遣る 外二首	A縦	漢字	田福 宏美	石垣市
杜子美詩	A縦	漢字	與那覇 律子	宜野座村
漢詩	A縦	漢字	長浜 まさ子	読谷村
魏允相に贈る	A縦	漢字	川満 曠子	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮城 みち子	中城村
変棋二首任公漸に呈す	A縦	漢字	宮城 政子	西原町
蔡大鼎詩	A縦	漢字	香村 春乃	読谷村
陶の飲酒に和す	A縦	漢字	小橋川 スガ子	那覇市
詩癖	A縦	漢字	新垣 絹枝	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	比嘉 さつき	沖縄市
郊行即事他一首	A縦	漢字	天久 美津枝	読谷村
蔡大鼎詩	A縦	漢字	富山 美智子	宜野湾市
離月夜	A縦	調和体	友利 久美子	北中城村
嶽池農家	A縦	漢字	玉元 庄弘	うるま市
孟冬朔日菊尊外一首	A縦	漢字	桑江 美恵子	宜野湾市
地口風雨留三日 他一首	A縦	漢字	森 さゆり	那覇市
寒山詩	A縦	漢字	金城 美恵子	沖縄市
周原幽居	A縦	漢字	上原 貴子	那覇市
杜甫詩	A縦	漢字	神山 直子	嘉手納町
白下他二首	A縦	漢字	大田 安子	西原町
遠遊篇	A縦	漢字	新垣 貴子	那覇市
河西務に宿す	A縦	漢字	上里 千代子	那覇市
蔡大業詩	A縦	漢字	比嘉 勝子	うるま市
夜眺・游仙詩(二首)	A縦	漢字	長嶺 朝弘	那覇市
蔡大鼎詩	A縦	漢字	宮城 律子	宜野湾市
再泛水繪園看月作	A縦	漢字	宮本 康申	西原町
李白詩	A縦	漢字	松堂 康子	沖縄市
田家雜興 他一首	A縦	漢字	仲原 真津枝	宜野湾市
菊を詠む口吟 他三首	A縦	漢字	新垣 恵津子	嘉手納町
寒山詩	A縦	漢字	喜納 八重子	読谷村
冬日偶然作	A縦	漢字	津嘉山 典	うるま市
日出入行	A縦	漢字	湧田 市子	沖縄市
寒山詩	A縦	漢字	内間 カズ子	浦添市
漢詩 二首	A縦	漢字	玉那覇 明美	与那原町
寄陸純孫 他二首	A縦	漢字	長堂 加代子	読谷村
朝天峽	A縦	調和体	當間 綾子	那覇市
静夜の吟	A縦	漢字	嶺井 由起子	那覇市
白妙の	A縦	かな	新垣 克子	那覇市

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
有明の空	B横	かな	松田 春美	うるま市
秋風	B横	かな	饒平名 真由美	那覇市
人の世	B横	かな	儀間 廣子	浦添市
中務集	A縦	かな	嶺井 風花	那覇市
山家集(西行)より八首	B横	かな	喜納 竹子	与那原町
小倉百人一首より	B横	かな	濱川 綾子	浦添市
木の芽	B横	かな	赤嶺 弘子	うるま市
月形団扇	B横	かな	安座間 賀子	うるま市
清水比庵の歌	B横	かな	當間 秀美	那覇市
おもひ寝	B横	かな	渡慶次 喜代美	嘉手納町
蓮葉の	B横	かな	備瀬 恵子	宜野湾市
めぐりあひて	B横	かな	福原 美枝	うるま市
梅の花	B横	かな	比嘉 優花	沖縄市
花さそふ	B横	かな	石津 陽子	那覇市
夕月夜	B縦	かな	喜友名 晴香	北中城村
随処為主	D	篆刻	関口 恵美子	那覇市
福寿康寧 群盲撫象	D	篆刻	須藤 保	那覇市
柔能制剛救世済民	D	篆刻	上原 和子	那覇市
先義後利・積善余慶	D	篆刻	古謝 治子	那覇市
楽哉無一事・精進無涯	D	篆刻	赤嶺 悦子	那覇市
随月讀書・明哲保身	D	篆刻	安里 涼子	那覇市
射将先馬・墨痕淋漓	D	篆刻	山城 千恵子	那覇市
杜甫詩	A縦	漢字	城間 律子	うるま市
や万眠る	B横	かな	諸見里 史子	与那原町
寄逸人高漫士他二首	A縦	漢字	眞謝 幸代	名護市
杜甫詩四首	A縦	漢字	宮城 律子	沖縄市
漢詩二首	A縦	漢字	日高 米利子	名護市
豊楽亭游春	A縦	漢字	渡口 葉子	うるま市
遊斜川(斜川に遊ぶ)	A縦	漢字	玉那覇 すみ子	宜野湾市
漢詩二首	A縦	漢字	日高 俊彦	名護市
漢詩三首	A縦	漢字	島津 和美	名護市
蘭亭序	A縦	漢字	佐次田 恵子	うるま市
秋景色	B横	かな	上杉 弘子	うるま市
おのれのまゝに	B縦	かな	宮城 多佳子	浦添市
春の曙	B横	かな	仲里 美智子	宜野湾市
万葉集より	B横	かな	仲里 美代子	南風原町
夕焼	B縦	かな	宜寿次 政代	うるま市
唐衣	B横	かな	志田 美代子	浦添市
秋の歌 二首	B横	かな	石川 葉子	うるま市
沙羅の木	B横	かな	比嘉 栄子	北中城村

第47回 沖縄県芸術文化祭

写真公募展

写真総評

審査会は今まで沖縄県立博物館・美術館のバックヤードで行われていましたが、今年からスペースが小さい会場になり総見も2回行うという従来と違う形になりました。

少々戸惑う事もありましたがどうにか時間内で終わらせる事が出来ました。今回の写真部門の応募総数は324点と昨年より5点の微増、応募人数が155人と11人の増となりました。

その中から105点を選出しますが、入選率が30%強と他の部門に比べて相変わらず狭き門となりました。

本来多くの作品を選びたいと思案しても厳しい現状に審査員はじめ関係者は頭を悩ませる所です。

午前10時スタッフが机の上に置く作品を挙手による形で審査がスタートいたしました。

審査光景は美術館エントランスにいる作者に刻々モニターで放映されます。審査員も背中に視線を感じ緊張しながらも丁寧に審査を続けます。

審査方式は10名の審査員の挙手数で決め、過半数(6名)以上の挙手が入選、5.4.3点が保留、2点以下が選外と致しました。

午後の昼食後更に審査が続きます。

最終的に午後2時過ぎ頃に入選の数が決定しいよいよ賞候補の審査に入りました。

昨年同様、審査員が5枚の付箋紙を持ち其々これはという作品上に貼っていきます。

次に3枚、2枚、2枚、最終的には作品の前での挙手による審査と数回による選別は誰が見ても公平な審査だったと感じました。

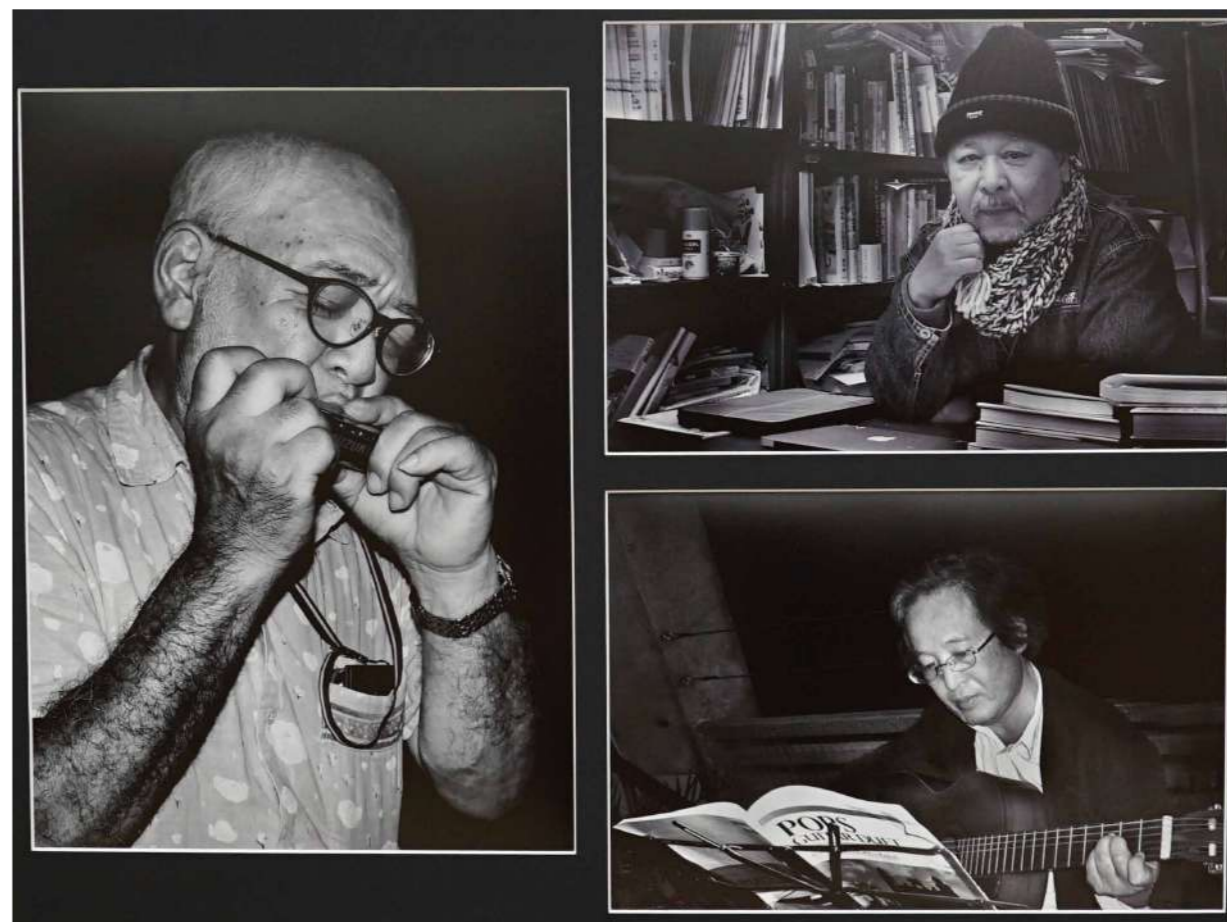
全体的に見て今年作品群は大人しくパワーが無く総見をした審査員が感じた点でもあります。

またデジタル特有の作られた作品も多く見受けられ写真制作ソフトによる遊びの域を出ていない所が見える。

幸いにして県知事賞は基本的なアナログによる作りの作品で良かったと思えました。

来年は総見で審査員をざわつかせる程の作品が出てくる事を願っております。

写真部門審査委員長 東 邦定



沖縄県知事賞 「男の時間」

玉城 健次郎

初チャレンジで最高賞の“県知事賞”受賞本当におめでとうございます。いかなる写真も一つの視線による「窃視」である。撮影者は像を窃視するものとしての立場を引き受けなければならない。と言う説がある。

人物、自然何を撮るにも「窃視」行為である。そのことに対する負い目の免罪符は、被写体に対して真摯に向き合うことだと説く。玉城さんの作品は、日ごろカラオケなどで親しくしている仲間を捉えた作品で、「窃視」に対する贖宥済みと見ました。賞欲しさにか、被写体に対する向き合いが、今いち感じられない写真が少なくないご時世、玉城さんの写真には賞狙いの臭いが感じられません。見る者に爽や感を与える作品に仕上がっています。

講評担当者 島元 智



奨励賞 「ほうずきの煌めき」

砂川 悦子

ほうずき（鬼灯、鬼燈）とも呼ばれるこの植物は薄いクリーム色の花を咲かせたあと、萼（がく）の部分が大きく成長し袋状になって果実を包み込んで朱色に色づき、小さな赤い提灯のような愛らしい姿となっていく。その後、袋状の赤い萼は葉脈だけが網目状に残って面白い変化を見せる。

作品「ほうずきの煌めき」は、赤く色付いた袋状のほうずきや網目状のほうずきをただそのままの状態にただ愛らしく美しく写すのではなく、自然作用の何らかの変化が加わることによって生じた、今までとは全く違って見える未知なるほうずきの魅力を感じ撮ろうとしているかのようだ。

雨後の水滴が、袋状の網目で宝石のようにキラキラと輝き、逆光による美しい丸い玉ボケの色彩がほうずきの実を優しく包む。三枚の写真は重複する事無くお互い響き合い、光と水滴を的確に捉えた効果が、ほうずきの生命の煌めきをより一層感じさせる作品となっている。

講評担当者 根間 芳和

新人賞 「姉弟（きょうだい）」

天久 昌子

斜光に浮かび上がる鮮やかな黄色いTシャツ。影で微笑む姉。陽のあたる所で笑みを含む弟。

タイトルからも想像できるが、知人が撮影したと考える。自然光のコントラストで構成した作品である。光と影は密接な関係にあるが相反する。姉と弟ではいろんな面で違いがあると思うが、作者はその相違を陰陽で表現したといえよう。その中で、静かに微笑む姉の姿は、弟を大切に慈しむ姿であり、レンズに向かう弟の眼差しは優しい。いつまでも二人仲良く育てて欲しいと願う親心のシャッターであると推察する。

写真撮影は自然光とストロボ発光を用いるのが一般的だが、宇宙の写真は電磁波や電波等で、医学写真はX線や超音波等で画像を表すことは可能である。この写真は基本的な自然光の魅力を瞬時に捉えてその場の状況をお互いに結びつけた。

例年、新人賞は奨励賞と競い合う。この賞をステップにさらなる飛躍を祈念します。

講評担当者 山城 博明

奨励賞 「一声合笑」

喜屋武 敬子

写真とは不思議なもので、絶え間なく流れる時の中で、「ある一瞬を切り取り、その瞬間を静止させる作業である」と仮定するならば、この作品はその仮定を我々にももの見事に証明しているのではないだろうか。動きを止め、音を消し、無動無音の静止画を動音画のごとく表現している。マイクを持った彼女が歌い出したとたん合唱は合笑となり、張り詰めた空気は大きな笑顔と変化させ、動きを産んだ。ピアノ伴奏の彼女さへ、白髪の彼女さへ、そして笑いをこらえ切れず、俯く顔もモーフィングへと補完されている。

ただ一人、真剣な表情で歌い続けているマイクの彼女だけが異なるシーケンスである。何を歌っているのか、何をしゃべっているのか、どれだけ音をはずしているのか、本気なのか、ふざけているのか、アドリブと思われるこの瞬間がなぜ発生したのか、答えを想像するだけでワクワクしてしまう。

動画を越えた静止画が動画の魅力を超えた静止画の魅力の限界に迫ったような作品である。この瞬間を捉えたシャッター音と合笑が静止した時間を再生することができた。奨励賞おめでとうございます。

講評担当者 浦本 寛史



奨励賞 「After the rain」

名嘉 元希

大胆かつスタイリッシュな作風からいってこの作者は、写真家というよりも、グラフィックデザイナーとしてこの作品を制作したように思える。少女趣味で、また妖艶（ようえん）さも含んだ本作品は、この展覧会の他の作品のような、社会的な問題を提起したドキュメンタリーの要素も、自然科学的な真実の要素も一切含まない、頭の中で作り上げて楽しむファンタジー（空想）の世界を楽しむための純粋な写真である。

徹底した写真による完全なる創作と意味でこの公募展に一石を投じるもので、ひとつの可能性を感じさせた。また何よりも完成された美的なセンスも秀逸である。

講評担当者 仲本 賢

沖縄県文化振興会理事長賞 「ウル石垣のある島」

大城 敏雄

今回の受賞作品はモノクロ写真 3 枚組でノスタルジアを感じさせる情景に仕上がっている。夏の暑い日差しをあびて自転車乗りをする少女。夏の穏やかな日々を感じさせます。バックには野面積みしたサンゴの石垣がローカル色豊かな希少価値のある組写真に仕上がっています。「組写真の中で最も組むのが難しいとされているのが 3 枚組のようです。全体のストーリー「起・承・転・結」を 3 枚組では足りない一枚をいかに思い描くかが大切のようです。」今回の作品は平凡な構図と素直なカメラアングルがそれを見事につかみとっています。欲を言えば子供達のアップ写真をもっと近くから撮影すればもっといい作品に仕上がったのではないかと思います。

受賞おめでとうございます。

大城さんの尚一層の飛躍を期待します。

講評担当者 上原 健次



写真公募展作品一覧

■審査員出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
記憶の中の残像	全紙	組	東 邦定
豊職人	A3	単	上原 健次
すべては来世のために	100×100	単	浦本 寛史
伊計島	110×195	組	島元 智
連玉森	58×49	組	田中 睦治
スイス・ボンフォル人看板計画 2017	100×100	単	仲本 賢
GAMAI II III	160×105	組	根間 芳和
朝霧に咲く菜の花	50×70	単	山城 博明
安田のシヌグ	全紙	単	屋良 勝彦

■無鑑査出展作品

題名	サイズ	種別	氏名
物外忌の安仁屋眞昭氏	72×61	単	國吉 倅明
若者達の鼓動	76×109	単	松門 重雄
ラブ・タイム	63×52	単	吉直 新一郎

■写真入賞作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
沖縄県知事賞 男の時間	72.8×103	組	玉城 健次郎	浦添市
沖縄県文化振興会理事長賞 ウル石垣のある島	115×85	組	大城 敏雄	与那原町
奨励賞 ほうずきの煌めき	65×117	組	砂川 悦子	豊見城市
奨励賞 一声合笑	61×77	単	喜屋武 敬子	豊見城市
奨励賞 After the rain	54.9×84.1	単	名嘉 元希	豊見城市
新人賞 姉弟	62×52	単	天久 昌子	浦添市

■写真入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
路地裏道遙-変わりゆく街並み	21×28	写真集	宮城 哲子	那覇市
躍動	85×108	組	屋富祖 良敬	那覇市
黄金色に染まる	62×76	単	屋富祖 良敬	那覇市
街角の研師	91×67	組	富村 盛信	那覇市
お花見	110×72	組	名城 克哉	宜野湾市
波紋	68×78	単	照屋 明	那覇市
レッドカーペット	51.5×62.5	単	高江洲 利恵子	那覇市
豊作を願って	113×83	組	栃澤 満郎	那覇市
光の小道	62×51	単	栃澤 満郎	那覇市
下町界限	95.8×73.4	組	桃原 秀子	那覇市
ナイスキップ	65×50	単	桃原 秀子	那覇市
至福のとき	62×74	単	長濱 大	豊見城市
ひとりぼっち	53×64	単	神田 守	那覇市
星に願いを	61.4×72.4	単	具志 明	八重瀬町
カミンチュ	63.4×77.4	単	新垣 允啓	豊見城市
雨にぬれても	53×64	単	新垣 允啓	豊見城市
力走	113×66	組	永味 節子	中城村
終焉	51×62	単	永味 節子	中城村
視線	A3ノビ	単	永山 直樹	沖縄市
The after moon of one day	113×84	組	新田 みゆき	名護市
雨の夜つづ	76.5×61.5	単	正木 虎夫	宜野湾市

■写真入選作品

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
森の住人	41×52	単	新垣 良子	那覇市
夏のいちにち	52×62	単	安田 幸子	那覇市
螢の旅	52×62	単	安田 幸子	那覇市
道ズネー	85×70	単	牧志 盛吉	与那原町
三線工房	29.7×21	写真集	牧志 盛吉	与那原町
雨あがりの路地	83×113	組	本庄 正人	那覇市
オブジェ豆腐島	26×33	写真集	宮城 米子	中城村
こころを織る	64×111	組	与那城 純子	那覇市
朱の回廊	77×63	単	山城 まゆみ	宜野湾市
小さな冒険	62×50	単	安里 涼子	那覇市
癒しの海	82×110	組	川満 昭男	西原町
竹む	50×65	単	中村 洋子	那覇市
カーニヴァル	49.8×115.3	単	浦崎 民雄	浦添市
六角堂からの眺め	44×59	単	楚南 富美子	那覇市
クレーター	58×75	単	金城 文子	南城市
気持ちいい	60×75	単	高田 和泰	那覇市
優美	全紙	単	比嘉 佐智子	浦添市
青空への階段	全紙	単	比嘉 佐智子	浦添市
島の情景	65×155	組	我喜屋 功	那覇市
笑みひII	76×59	単	我喜屋 功	那覇市
招かざるモノ	54×65	単	瀬底 眞守	南城市
流水の狩人	83×113	組	砂川 悦子	豊見城市
耕にあう女	全紙	単	大城 勝子	糸満市
利尻島のおばあさん	A2	単	安田 正昭	那覇市
路上の子どもたち	A2	単	安田 正昭	那覇市
世代交代	A2	単	祖慶 良勇	那覇市
三者三様のしぐさ	43.5×59	単	松岡 洋市	西原町
にらめっこ	43.5×59	単	松岡 洋市	西原町
給餌	76×92	組	城間 由美子	八重瀬町
ナイス デイ!	78.5×68.5	単	友寄 啓子	那覇市
祭りの楽しみ	52×69	組	平良 克之	那覇市
夢中	63×86	単	添石 艶子	与那原町
イマジネーション	64×85.5	単	儀間 生子	那覇市
梅雨入り	61×83	単	儀間 生子	那覇市
五月の雨	64×53	単	本間 京子	糸満市
彩海	87×130	単	真栄城 浩	北谷町
真剣勝負	A4	組	平良 健	那覇市
みつめる	A2	単	又吉 英男	浦添市
乗車	A2	単	又吉 英男	浦添市

題名	サイズ	種別	氏名	市町村
凜として	74.5×60.5	単	喜友名トミ子	宜野湾市
時の顔	62×72	単	大川 盛安	宜野湾市
伝統文化の継承	107×75	単	島袋 進	浦添市
ナーダム・出番前	51×62	単	島袋 進	浦添市
至福の刻	59×44	単	島袋 陽子	浦添市
メーグロウン鉄道市場	75×107	組	島袋 直美	浦添市
降臨	43.5×59	組	島袋 直美	浦添市
夕景	61×73	単	上原 恵子	那覇市
故郷	52×62	単	天久 昌子	浦添市
時間を超えて	A3ノビ4枚	組	花城 雅孝	那覇市
もうひと仕事	64×53	単	花城 雅孝	那覇市
ちびっこ戦士	81×97	組	長堂 哲	読谷村
漁港の朝	113×63.5	組	森江 直子	与那原町
異次元の生き物	115×74.5	組	山田 恵美子	うるま市
農	76.3×68.3	組	山田 恵美子	うるま市
島のくらし	63×84	単	宮良 正子	うるま市
うすづく頃	90×65	単	大城 慶子	豊見城市
kingfisher	53×64	単	中村 秀雄	糸満市
残郷-II	77×105	組	宮城 良信	西原町
ブルーファンタジー	121×87	単	具志堅 興清	名護市
ひと休み	58×76	単	しんざと いじ	宜野湾市
赤提灯の誘惑	112.5×82.7	組	親富祖 勝枝	浦添市
クッアディーサの葉陰から	69×53	単	嶺井 エリ	南城市
あっぱれ	55×66	単	嶺井 エリ	南城市
こどもの日	55×68	単	富永 由香	糸満市
御願	75.5×58	単	宮城 光代	沖縄市
ウーワイ	56.5×74.5	単	宮義 洋史	沖縄市
働く男	74.5×56	単	宮義 洋史	沖縄市
夜行性	95×132	組	具志堅 一彦	宜野湾市
水芸	62.3×51.5	単	副田 保子	那覇市
指定席	52×62.5	単	みやら 文	那覇市
ゆく道かえり道	40×49	単	新川美代子	西原町
私はここよ	62.5×75	単	天久 ゆういち	宜野湾市
明日に向かうヒルギ	57×82	単	天久 ゆういち	宜野湾市
鼠がえし	72.5×61	単	豊平 峰雲	那覇市
婚礼の宴(ネパール山岳地方)	114×82.5	組	原國 政裕	豊見城市
炎の男	61.5×72.5	単	仲道 幸子	うるま市
小さなエンジェル	54.6×67.5	単	島田 美佐子	うるま市
寄り添う	全紙	単	宮城 悦子	豊見城市

美術公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事賞	奨励賞	新人賞
昭和52	6	永山 信春	我如古 彰一			上原 隆昭 米須 敏三郎	
53	7	米須 敏三郎	尚 武			川平 恵造 比嘉 良二 屋良 朝春	
54	8	永山 信春	米須 敏三郎			川平 恵造 比嘉 良二 与那覇 朝大	
55	9	与那覇 朝大	喜友名 朝紀			朝内 信二郎 新垣 安雄 瑞慶山 昇 能山 宗忠	
56	10	川平 恵造	青山 映二			新城 剛 砂川 喜代 比嘉 良二	
57	11	宮城 和邦	浦崎 彦志			上江洲 由朗 川平 恵造 当山 進	
58	12	川平 恵造	和宇慶 朝健			伊本 隆一 上江洲 由朗 宮城 孝也	
59	13	和宇慶 朝健	屋良 朝彦			伊本 隆一 砂川 喜代 和宇慶 朝健	
60	14	上江洲 由朗		比嘉 良二		鎮西 公子 仲宗根 清 山内 盛博 屋良 朝彦	
61	15	上江洲 由朗		金城 満		伊良部 恵勝 金城 準子 宮城 孝也	
62	16	島袋 喜代子		伊良部 恵勝		金城 準子 知名 久夫 山田 武	
63	17	金城 満		宮里 顕		叶 英樹 知名 久夫 屋良 朝彦	
平成元年	18	新垣 正一		屋良 朝彦		叶 英樹 三木 元子 山内 盛博	
2	19	宮里 昌健		長嶺 斉		奥原 崇典 瑞慶山 昇 中村 春孝	
3	20	仲里 安広		新崎 竜也		奥本 静江 佐久間 盛義 瑞慶山 昇	
4	21	奥本 静江		知念 秀幸		知名 久夫 仲本 清隆 宮城 和邦 宮里 昌健	
5	22	知念 秀幸		池宮城 智子		玉城 正明 知念 盛一 比嘉 良徳	
6	23	又吉 邦華		比嘉 良徳		稲嶺 盛一郎 上原 仁輔 三木 元子	
7	24	赤嶺 雅		大城 朝康		叶 ひでき 志喜屋 徹 花城 勉	
8	25	花城 勉		宮城 あすか		赤嶺 雅 奥原 崇典 我謝 弘行	
9	26	大城 久美子		津波 古 稔		新垣 盛秀 磯村 茂 玉城 正明	
10	27	松本 妙子		三木 元子		奥本 静江 西平 賀雄 根間 智子	
11	28	永原 達郎		根間 智子		親川 松清 佐久本 米子 堀川 恭昭	
12	29	津波 古 稔		豊永 盛人		安里 充広 小橋川 清一 宮城 和邦	
13	30	与那覇 芳恵		安富 幸子		大城 久美子 叶 ひでき 佐久本 米子	
14	31	山川 さやか		樹井 昌智		栗山 絵美子 佐久本 米子 宮里 ユキ子	
15	32	富元 明雄		与那覇 芳恵		佐久本 米子 安富 幸子 山川 さやか	
16	33	波平 栄宏		池原 優子		栗山 絵美子 富元 明雄 宮里 ユキ子	富名腰 ヨシ子
17	34	池原 優子		富名腰 ヨシ子		上原 はま子 河原 圭祐 安富 幸子	野津 唯市
18	35	島袋 洋		釘本 成行		仲本 潤光 平川 宗信 上原 英樹	濱元 朝和
19	36	佐久本 米子		橋本 弘徳		玉城 正明 城間 義夫 野津 唯市	宜保 和可乃
20	37	奥原 崇典		宮城 翔子		野津 唯市 太田 成美 上原 英樹	栗山 ルリ子
21	38	普天間 実佳		栗山 ルリ子		宮里 友三 上原 義正 玉那覇 英人	宮城 才子
22	39	仲里 安広		玉那覇 英人		鶴見 伸 宮里 友三 濱口 真央	並里 幸太
23	40	鶴見 伸		宮里 昌信		嵩原 武子 与那覇 勉 玉那覇 英人	中澤 将
24	41	玉那覇 英人		宮里 昌信		鶴見 伸 伊波 則雄 与那覇 勉	金城 知美
25	42	伊波 則雄		宮里 昌信		宮里 友三 具志堅 古秀 中澤 将	朝妻 彰
26	43	鶴見 伸		与那覇 勉		北山 千雅子 具志堅 古秀 伊波 則雄	伊志嶺 達雄
27	44	山城 道		与那覇 勉		仲程 悦子 金城 恵美子 北山 千雅子	饒平名 知健
28	45	北山 千雅子		嵩原 武子		伊波 則雄 仲程 悦子 松本 幸昌	華山 聖作
29	46	小泉 ゆりか			伊波 則雄	与那覇 勉 仲宗根 市子 並里 幸太	齋 悠記
30	47	伊志嶺 達雄			平川 宗信	与那覇 勉 仲程 悦子 仲座 包子	カガミ ショーシ

書道公募展

年度	回	県知事賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事賞	奨励賞	新人賞
平成8	25	島野 裕司	眞喜屋 美佐		上 地 徹 香村 ナホ 比嘉 良勝	
9	26	島 尚美	中村 裕美		泉 朝信 砂川 榮 比嘉 良勝	
10	27	中村 裕美	上 地 徹		新垣 洋子 砂川 榮 浜口 清子	
11	28	神山 律子	砂川 榮		荻堂 ひろ子 眞喜屋 美佐 与那覇 典子	
12	29	神山 律子	玉城 君子		砂川 榮 高江洲 朝則 眞喜屋 美佐	
13	30	西蔵盛 英雄	運天 美代子		島 尚美 長浜 和子 比嘉 千鶴子	
14	31	比嘉 千鶴子	西蔵盛 英雄		金城 多美子 島 尚美 眞喜屋 美佐	
15	32	比嘉 さつき	我喜屋 文子		金城 多美子 高江洲 朝則 宮里 朝尊	
16	33	上門 かおり	金城 多美子		高江洲 朝則 長山 りえ子 比嘉 千鶴子	上原 孝之
17	34	高江洲 朝則	志村 京子		安里 友子 金城 多美子 宮里 朝尊	稲嶺 法子
18	35	上原 貴子	齊藤 純子		与那覇 律子 宮里 朝尊 田頭 節子	山里 昌輝
19	36	田頭 節子	齊藤 純子		与那覇 律子 幸喜 石子 山里 昌輝	該当者なし
20	37	新里 明美	幸喜 石子		石川 美智代 上門 かおり 山里 昌輝	普天間 完文
21	38	仲外 由美子	幸喜 石子		仲里 徹 渡久地 美佐子 具志堅 ナ工子	金城 真理子
22	39	上門 かおり	山里 昌輝		渡久地 美佐子 謝名堂 奈緒子 石川 美智代	喜友名 正子
23	40	金城 真紀子	新里 明美		仲外 由美子 渡久地 美佐子 松 淳子	松川 美智子
24	41	渡慶次 喜代美	石川 美智代		与那覇 千恵子 仲里 徹 大仲 春奈	城間 律子
25	42	仲外 由美子	上運天 春菜		謝名堂 奈緒子 渡慶次 喜代美 田頭 節子	安座真 賀子
26	43	与那覇 律子	仲里 徹		喜納 京子 上原 千枝美 天久 美津枝	大田 安子
27	44	幸喜 洋人	謝名堂 奈緒子		石津 陽子 仲里 徹 田頭 節子	神里 和子
28	45	眞謝 幸代	上原 千枝美		上原 貴子 渡慶次 喜代美 田頭 節子	福原 美枝
29	46	長堂 加代子		島津 和美	神里 和子 新垣 恵津子 當間 秀美	濱川 綾子
30	47	伊波 エツ子		仲宗根 司	田頭 節子 喜友名 正子 金城 綾子	該当者なし

写真公募展

年度	回	県知事賞	教育長賞	優秀賞	沖縄県文化振興会理事賞	県議会議長賞	市長会長賞	奨励賞	新人賞
昭和54	8	末吉 はじめ	嘉納 辰彦			田中 澄一	仲宗根 直	大嶺 信雄	上原 健次 小谷 隆男
55	9	大嶺 信雄	名嘉真 朝健			上原 健次	比嘉 清眞	川平 幸雄	照屋 忠 宮平 秀昭
56	10	嘉納 辰彦	大城 喜一郎			原田 欣哉	上地 完徳	大城 信吉	隅田 伸之 久田 友福
57	11	該当者なし	田場 盛雄			村澤 仲裕	久田友福・大城信吉	川平 幸雄	我那覇 生守 新里 和子
58	12	比嘉 朝之	上地 完徳					大城 信吉	久田 友福 村瀬 武文
59	13	大城 信吉	中村 正文					知念 清市	久田 友福 宮城 信秀
60	14	屋良 朝崇		吉直 新一郎				崎山 佳裕	比嘉 朝之 前原 常男
61	15	嘉数 繁光		大城 幸信				上原 健次	坂井 和夫 仲米 政雄
62	16	阿波連 勲		金城 幸彦				浦本 寛史	高塚 勝巳 新田 健夫
63	17	安田 敬子		末吉 はじめ				伊佐 美砂	金花 幸彦 知念 佑子
平成元年	18	牧 直實		伊芸 元一				上原 健次	金花 幸彦 比嘉 朝之
2	19	嘉数 和子		比嘉 睦子				金城 幸彦	儀間 真人 名嘉真 朝健
3	20	金城 幸彦		平井 毅				大川 修	翁長 正則 宮本 伝
4	21	金城 幸彦		知花 照子				比嘉 文雄	宮本 伝 山川 有元
5	22	松門 重雄		島袋 正然				伊芸 元一	上地 キミ子 新田 健夫
6	23	登野城 安則		祖慶 良勇				上地 キミ子	仲宗根 直 平田 克之
7	24	富平 実		伊芸 元一				上地 キミ子	崎山 洋子 比嘉 睦子
8	25	上地 キミ子		諸見里 光子				金城 一史	山城 正雄 与那城 武旭
9	26	染矢 尚武		松門 重雄				喜名 朝駿	友利 孝子 豊島 貞夫
10	27	知名 信子		染矢 尚武				瀬良垣 馨	平良 克之 眞栄田 久嗣
11	28	平良 幸江		親泊 秀尚				阿南 鐵司	上地 キミ子 与那城 壮旭
12	29	中山 興也		波平 常則				石川 敬介	喜名 朝駿 當眞 嗣範
13	30	瑞慶覧 進		山城 和代				喜名 朝駿	祖慶 良勇 与那城 壮旭
14	31	喜名 朝駿		山城 盛達				佐久田 尚昌	長堂 嘉秀 宮城 義亨
15	32	国吉 倅明		祖慶 良勇				翁長 盛武	添石 幸安 富平 実
16	33	仲村 千佳子		福村 安弘				小渡 静男	島袋 弘 山田 浩 松本 達子
17	34	翁長 盛武		山城 和代				上原 健次	木村 正男 島元 智 しんざとえいじ
18	35	仲村 千佳子		比嘉 清眞				仲村 繁	小嶺 朝子 松本 達子 森山 ひろみ
19	36	辺土名 朝功		吉直 新一郎				比嘉 清眞	松山 朝雄 岩城 禮子 島尻 郁美
20	37	吉直 新一郎		比嘉 清眞				宇栄原 格	波平 栄宏 豊平 信則 泉谷 壘
21	38	添石 艶子		大嶺 勝美				南 研作	西原 けんじ 宮良 文 比嘉 正栄
22	39	島元 智		国吉 倅明				新城 直美	高野 生優 比嘉 清眞 城間 由美子
23	40	島元 智		島袋 陽子				比嘉 清眞	渡久地 政修 宮良 文 長堂 哲
24	41	山内 弘子		田中 優子				祖慶 良勇	島袋 メリ子 福盛 庸夫 又吉 国夫
25	42	砂川 悦子		新垣 フミ子				泉 朝順	木戸 栄里 大嶺 白栄 兼島 正
26	43	山内 昌昭		宮城 米子				羽地 良恵	山内 弘子 城間 由美子 原国 政裕
27	44	稲嶺 もりみつ		山内 昌昭				宮義 洋史	知念 信雄 大川 盛安 幸喜 あかり
28	45	又吉 英男		眞栄城 浩				宮城 米子	城間 由美子 金城 直也 永味 節子
29	46	宮義 洋史			新城 直美			花城 雅孝	與儀 美奈子 我喜屋 功 親富祖 勝枝
30	47	玉城 健次郎			大城 敏雄			砂川 悦子	喜屋武 敬子 名嘉元 希 天久 昌子